

デイサービス菜の花ニュース

平成27年

5月号

平成27年4月に行なわれたデイサービス菜の花の活動の一部をご紹介します。(編集責任 原崎)

春爛漫

男ふたりの散歩道
どこへ行くかは、風まかせ♪

待ちに待った春がやってきました！
お出掛けが気持ち良い季節ですね。
利用者様も機能訓練として、施設周辺のお散歩や
100円ショップへの外出行事に出掛けました。
「暖かいね」「風が気持ちいいよ」とおしゃべりを
しながら、桜や新緑で目の保養をされました

お天気だなあ

似合っかな？

100円ショップでは、男性は帽子、
女性にはお菓子や小物が人気でした！

色々あるんだねえ～

ネイルサロンで女子カアツ♡

菜の花作品展

4/27～5/10まで「菜の花作品展」が開催されました。デイ利用者様からも
貼り絵、塗り絵、書道、掛軸、手芸、布細工、木工品等を展示していただきました。
色とりどりのお花と共に、アートがあふれる素敵な空間でした

ご自身の作品と一緒に記念撮影☆

4/14, 4/16

ギョーザ作り

調理レクコーナー

4/20, 4/21, 4/22

桜もち作り(長命寺風)

おかわり!

うまい!

収穫しました

うそー焼くのが
コツなんだよ

おひとついかが!?

畑で採れた絹さやも添えて♡

奈津子&綾子のスプリングコンサート

4/24 ピアノの奈津子先生とフルートの深瀬職員による
コンサートが開催されました。参加の皆様は素敵な音
色に合わせて唱歌や懐メロ曲を口ずさまれました

4/27 ボランティア

4/27 FU-風さん♪ありがとうございました

5月20日以降の予定

おやつレク「紫陽花の和菓子」「生クリームどら焼き」
調理レク「手作りピザ」 青空ランチ
大正琴ボランティア
外出行事「蓮華寺池公園」
デイ開設記念会

デイサービス菜の花 ☎054-646-7087 (ナノハナ)
利用者様大募集中!! お試し利用を実施しています
お問い合わせはデイ相談員 原崎まで



ショートステイ 菜の花



「ショートステイ 菜の花」の最近の様子をご紹介します。利用者様の素敵な笑顔をご覧ください!!



祝

開設記念日

↓ 開設記念御膳

本日のお品書き

- ・赤飯
- ・刺身
- ・天ぷら
- ・炊き合わせ
- ・茶碗蒸し
- ・お吸い物
- ・フルーツ



「菜の花設立4年目」を開設記念御膳で利用者様・職員みなで祝いしました! 美味しかったですね!



福地奈津子先生のピアノ & デイ職員・深瀬のフルートでコラボコンサート

やさしい音色と美しい演奏者に癒された極上のひととき。また聴きたいです!

書道

書道倶楽部に参加中のお二人。墨の香りに包まれて静かな時を過ごします

ボランティアFu~風様

芸達者なメンバーの方々です



菜の花 作品展

菜の花の利用者様、家族様、職員から提供いただいた作品を展示しました。昨年に引き続き大盛り上がりでした!

↑心のこもった作品をひとつひとつ丁寧に観覧されています



今後の予定

- ・料理レク・紅白歌合戦・脳トレなど計画中。リクエストも受け付けています。

負担限度額認定証をお持ちの利用者様へ

7月31日で更新となります。新しい証明書が手元が届きましたら、早めにコピーを提出していただくようお願いします。



第一弾 紫藤

第二弾 白藤

蓮華寺池第三十二回藤まつり 出展作品をお借りした



菜の花に 居ながらにして 藤まつり 川口節子

藤まつりへくださった、未坂麻様のご親戚の未坂忠浩様

菜の花 在宅版

平成27年5月号 社会福祉法人聖啓会 柳屋ビル1階

ひとこと ユニトリダー 梅原達

集ユニトリダーの梅原達(さとし)と申します。今回は私の自己紹介を兼ねて当コラムを担当させて頂きます。

私の介護職歴は約3年、当施設開設時がスタートラインです。

前職はサラリーマン、とても良き先輩方に恵まれて今の自分があると常々思っています。その先輩方の数々の名言(迷言)が支えになって今の自分が成り立っているというのも過言ではありません。

その中の一つをご紹介します。

【人生いくつになっても成長することができる】

ちょっと浪花節が入った言葉ですが、日々成長していきなさい、人間は死ぬまで成長できる生き物なんだよという教えだと解釈しています。

介護職としてスタートしたが五十手前、知力の衰えは否めません(笑)

では、いま何を成長させることができるかと考えると心の置き方といえます。心の広げ方といえますか、認知症の方や身体の不自由な方をしっかりと受け止めるだけの器を自分の中にしっかりと作ることが今の自分に求められている成長ではないかと考え、日々菜の花で働かせていただいている次第です。

この成長するための糧はやはり入居者様と真摯に向き合い、時には感性を鋭く、時には緩く感度を変えながら得られる経験です。

先日、居室に飾られた一枚の写真をみて得たものがあります。

介護員のリクエスト

「家族の皆様にお願ひがあります。利用者様の輝かされていらした時の、いやさしただけでも幸せを感じていらした時の写真や持ち物をお持ち頂けたらと思います。

より具体的に利用者様本来の姿を理解することで介護職の認識が変わり、より良い関係を作っていくことが出来ると思います。

また思い出話などもしていただければ大変有り難く存じます。

認知症の方の今をみるのではなく、その方が輝いていた時を想像しながら接しなければならぬということ。私たちは認知症を発症した状態の入居者様本来の姿をあまり知らないで接しています。希に入居者様と接する事を大変に思うこともあるのですが、入居者様の今の姿がその方の本来の姿ではないとしっかりと認識し接していくことで大変さを意識しなくなりました。

このことは手前味噌ながら自分が少しばかり成長した証かなと思っています。ちょっと偉そうなことを書いてしまいました(笑)

さて、介護職に就いてもう三年、いやまだ三年といったところでしょうか。五十を越えてもまだまだ自分には伸び代があると信じていたいですね。

最後に一言、この介護という仕事、入居者様への接し方ひとつで入居者様に変化が見られます。奥が深い、やりがいのある仕事です。